

# 桐鈴凜々

第95号

平成26年5月15日発行

発行責任者

社会福祉法人 桐鈴会

理事長 黒岩秩子

南魚沼市浦佐 5142-1

電話 025-780-4118

FAX 025-777-3731

e-mail

suzukake@rose.ocn.ne.jp

http://www17.ocn.ne.jp

/~tourei/

職員が働きやすい、

働き甲斐のある職場づくりを目指して

桐鈴会職員（パート含）就業規則・給与規程の大幅改訂を実施

ケアハウス鈴懸施設長 林 幸英



社会福祉施設は、利益追求が一つの重要な目的となっている。営利企業と異なり、それぞれが福祉という高い使命を持ち、福祉を通して社会へ貢献していくという究極的目的を持っている。そして他方で、その究極的目的を達成するためにも組織体が

存続していくことが必要であり、ここに、(注)資源(人・物・金)を有効に活用し効率を上げるといふ、営利・非営利を問わず組織体共通の目的がある。  
(注)「資源を有効に活用し」を

「人をこき使う」という意味に捉えられるかもしれないが、意図としては「人がいかに率先して持つエネルギーを最大限に發揮して仕事をしてくれるか。そのためには、働く人の立場になって考えねばならないこと」の意味を含んでの言い回しである。

社会福祉施設の性格(問題点でもある)として次のことが挙げられている。

・人が人にかかわる業務。(労働集約的業務)  
・業務そのものが標準化されに

## 桐鈴会の理念

・終のすみかを目指す  
・「迷惑をかけ合える関係」を目指す  
↳ 高齢者、しょうがいしゃ、子どもたちが  
安心して住める地域を創ろう



件下での労働環境への対応が必要視されること。

これらの背景等を踏まえ、大幅改訂を実施すべき目的を次のとおりとした。

(目的)

1 前記背景に適切に対処することの必要性和労使間のトラブルを未然に防止し、事業の円滑な運営を図ること。

2 今後の桐鈴会運営に因って発生すると思われる事柄を想定し、職員が働きやすい、働き甲斐がある職場づくりに資すること。

(主たる改訂の要旨)

① 職員就業規則の条文の大幅追加(旧全26条を新全67条に)  
② 職員給与表を、今まで2等級制を採用していたものを、新たに職務基準を設定し、等級制度

(注) (キャリアパス)の5等級

に改正

なお、この給与表は、号俸間の差額を少なく設定してあり、今後予定している人事考課制度の実施を前提としている。

(注)「キャリアパス」とは

職員の昇級・昇格の道筋をつけるもので、経験・資格・能力に合った役職等のポストを明示し↓それに見合う賃金・待遇を定め↓これを就業規則等で示し周知すること。

③ 職務基準を設定

・管理専門職務の職位：5等級 (新たに統括施設長、場合によっては専務理事の格付けを可能とした)

・中間指導職務の職位：3等級、4等級の格付け

・一般職務の職位：1等級、2等級の格付け

④ 諸手当支給基準を新たに設定

・資格手当、早出勤手当、役付手当、管理職手当等の新設・改訂 (資格と経験は人材教育の両輪)

⑤ パートタイム職員給与規程を新たに規定

・正職員比率が低いことへの


補いと処遇改善策の一環

・基本給 (時給) 表を職務区分ごとに新たに設定

・時給表についても、号俸間の差額を少なくし、正職員と同様に人事考課制度の実施を前提に作成

今回の改訂については、試行錯誤の域を出ない面があり、今後の推移を見極めながら修正を加えていきたい。

平成26年度  
桐鈴会施設別職員配置  
(正・準職員)



○ケアハウス鈴懸

- ・施設長 林 幸英
- ・(本部) 事務長 島村義彦
- ・生活相談員 小林裕子 (産休中)
- ・代替パート 木村恵子
- ・管理栄養士 片桐康雄
- ・栄養士兼調理員 小林めぐみ



○鈴懸おはようヘルプ

- ・管理者 森山栄子
- ・サービス提供責任者 水落文枝
- ・サービス提供責任者 小幡道代

○グループホーム桐の花

- ・管理者 糸山和子
- ・計画作成担当者 関和香子
- ・介護職員 小川明子 (新採用)
- ・介護職員 勝又紀子 (新採用)
- ・介護職員 湯本利恵子 (新採用)



○工房とんとん

- ・管理者 星野淳子
- ・サービス管理責任者 湯本利恵子 (新採用)
- ・職業指導員 (準) 小川菜摘 (産休中)

○ケアホームおひさま

- ・管理者兼サービス管理責任者 森山里子
- ・生活支援員 富永なつみ (新採用)

○グループホームひまわり

- ・管理者兼サービス管理責任者 森山里子

**新管理者挨拶**  
グループホーム  
桐の花管理者 糸山和子



昨年の今頃は、グループホーム桐の花への就職を控え、事務

引き継ぎにおおわらわでした。そして、1年もたたないうちに逆の立場で同じ思いをするとは、想像もしていませんでした。

前職場では、計画作成と管理者を7年間勤めました。この10ヶ月、介護現場から前職場で担っていた職務を客観的に見ることでできたことは、このたび、管理者を引き継ぐにあたって、大変意味のある時間を与えていただいたのだと思っています。与えられた役割は、働きの要請なのだと思います。自分の責任の範囲を広げて、のりしろをはみ出し、一つ一つ愚直に取り組んでいきます。利用者の方々、ご家族、地域の皆さん、職員の皆さんの桐の花にかける思いが調和した時、桐の花の「理念」の成就があると思います。それ

を目指して頑張りたいと思います。わからないことばかりですが、色々と教えていただきながら役割を果たしていきます。よろしくお願ひします。

**新入職員挨拶**

**グループホーム桐の花**



介護職員  
小川明子

入居者の方々も職員も皆さんが、穏やかに過ごしているのが素敵です。私も早くそこに溶け込みたいです。よろしくお願ひします。



介護職員  
勝又紀子

あつという間に一ヶ月がたちましたが、夕食作りに悪戦苦闘しています。レパートリーを増やし、おいしい食事が作れるよう頑張つていきたいと思ひます。

**工房とんとん**



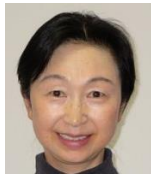
職業指導員  
星 澄子

2月より厨房で働かせてもらっています。ようやく皆様の顔と名前が分かってきました。おいしい食事作りに頑張ります。



生活支援員  
井口節子

人との出会い・繋がりを大切に、地域に愛される「工房とんとん」を築いていきます。どうぞよろしくお願ひいたします。



サービス管理責任者  
湯本利恵子

利用者さんが、笑顔で「とんとん」に通つて来れるよう、少しでもお役に立てればと思ひます。よろしくお願ひいたします。



職業指導員  
佐藤清子

3月からお世話になっていきます。手作り班で利用者さんに教わりながら、楽しく作業しております。よろしくお願ひいたします。



看護職員  
大綱エツ子

週2日間、楽しく働いています。利用者の皆様が身体について、少しでも安心できるように努めたいと思ひています。

**ケアホームおひさま**



生活支援員  
富永なつみ

4月からおひさままでお世話になっております。二十代の若さと笑顔で頑張ります。よろしくお願ひします。

評議員の辞職に伴う  
補欠の選任を行いました。

〈評議員補欠選任者〉

・星野栄子さん

南魚沼市東泉田

民生児童委員

・勝又千賀子さん

南魚沼市六日町

新潟いなほの会副代表

(任期)

平成26年4月1日から

平成27年3月9日まで

(前任者の残任期間)

桐鈴会発展のため、大いに期待できる二人です。よろしくお願ひいたします。

〈評議員退任者〉

・清水春代さん

南魚沼市浦佐

・森山芳美さん

魚沼市板木

(平成26年3月31日辞職)

長い間、評議員として桐鈴会

発展のためご貢献いただきました。

心からお礼申し上げます。

ありがとうございます。今後

とも益々ご健康で活躍されま

すことをご祈念しております。

## 退職の挨拶



「10年ひと昔…」

皆様ありがとうございました」

グループホーム桐の花

前管理者 中村文子

平成16年10月私は桐鈴会に就職した。地震の年だった。内覧会が無くなったり夢草堂がデイスサービスになったりと始まりも色んなことがあった。

開所し11月1日から入居者の受け入れが始まった。桐の花は皆さんご存知の通り、グループホームとしては県内でも数少ない看取りができる施設だ。今では看取りをすることが当たり前のようにだがここまでの道のりは決して楽なものではなかった。いろんなことが思い出される。

10年ひと昔とはよく言ったものだ。桐の花のいろんな物品・設備が壊れ始めた。新しい職員も遅まきながらそろった。開設当初からの最後のお一人林ハナさんもお亡くなりになった。古い？桐の花と共に私は卒業し新しい体制、桐の花となるのだ。

平成23年の5月。法人の事情で私は管理者と計画作成の兼務となった。無理だろう。私は理事長を恨んだ。ただでさえ12時間労働かと家族に白い目で見られていたのに。おかげさまで私は5月を目の前にしてまだ残務に追われている。私はその時に決めた。これから2年をめどに職員を揃え私は辞めよう。「私は次へつなげるためのつなぎだ」これが私の中の自分を慰める言葉となった。この2年間職員が足りず本当に一人一人の力を実感した。職員一人一人の力と和がどんな事にも代えがたいものだと実感した。新米管理者のうえに昨年は市の実地指導やデイスサービスの更新申請、外部評価：めまぐるしく日が過ぎて行った。その分桐の花の職員にはとてもとても迷惑をかけたし、お世話になった。入居者の方々

家族の方々にも本当に感謝している。関わりのあったすべての方々にお礼が言いたい。おかげで私はどこに行っても桐の花の事を思い出し、どんな事にも耐えて行けるだろう。

桐鈴会は双子を生み落とし、相

変わらず理事長の激しいトルネードに巻き込まれながらもこれから大きな発展をとげるだろう。新しい桐の花も本当にパワーアップしたが、なんとかトルネードをうまくかわしながら負けずに頑張ってもらいたい。

以前、黒岩卓夫先生に「桐の花には黄色いアヒルと白いきつねがいる」と言われたことがある。黄色いアヒルはがーとわめきうるさいくらいにいるんなことを言う星野前桐の花管理者（現在とんとん管理者）。白いきつねはにこにこして近寄り、つるんと人を言いくるめる、それが私。なんてたとえだ！と思っただが今じゃ忘れられない言葉となった。次の糸山管理者と関計画作成担当者にもぜひつけてもらいたい。黒岩先生に最後のお願いをして終わりたいと思う。お世話になったすべての皆様。今まで支えていただき本当にありがとうございます。深く御礼申し上げます。



「大変お世話になりました」

鈴懸おはようヘルプ

訪問介護員 関 雪江

還暦を過ぎてから取得したヘルパーの資格。右も左も分からない私でしたが、職場の皆さんに助けられながら仕事をさせていただきました。

3月に体調を崩しリタイア。もう1年頑張つて介護福祉士をと思つていましたが残念。入居者の方達とも仲良くさせていただき楽しい職場でした。体調が良くなつたら今度はボランティアでおじやましたいと思つています。その時はまたよろしく。皆さん元気できてください。2年間本当にありがとうございました。

退職しました

○樋口芳枝

（工房とんとん看護職員）

○山本昱子（いくこ）

（工房とんとん職業指導員）

○山之内江身子

（工房とんとん看護職員）



新入居者紹介

グループホーム桐の花  
中島豊一さん（87歳）



旧大和町今町新田から3月26日に入居。

今までデイサービスを利用してきていたので、桐の花ではすでに顔なじみです。優しく、穏やかで夫にしたいナンバー1かもです。

豊一さんに質問

Q 好きな女性のタイプは？

A 体格がいいしよがいいな。

Q 私はどうでしょうか？

A お前なんか最高だこつてえ。と気を使って、聞く職員にいつも笑って答えてくれます。

若いころは、土方や農業を頑張ってきたことと。

これからは、花壇の草取りや野菜作りを教えてもらいたいと思っていますのでよろしくお願ひします。（聞き手 関和香子）

春の屋台デー

鈴懸おはようヘルプ  
訪問介護員 井口礼子



3月12日、待ちに待った屋台デーがやってまいりました。美味しいのをいただくのが大好きな美食家？（自称）の私としては、首を長くして待っていました。メニューを紹介しますと、理事長の手作りコンニャクから始まり、おかこ餅、五目ご飯、じゃがいも煮、すいとん、おでん、田楽、漬物、ラーメン、ホットケーキ&各種ドリンクと盛りだくさん！担当になったS様と、楽しく目の回るお食事をして



懐メロ音楽より、何しろおしゃべりがすごくて…。



故鈴木要吉さんが腕を振った看板（「春の屋台デー」）が今年も活躍です。

ました。今回は余興がなく、『音楽を聴き、おしゃべりを楽しむ』がテーマとのことでした。好みによりますが、皆様満足されていました。

また、越後繊維の洋服屋さんが出店され、春にふさわしい服を持参してくださいだったので、会議室に花が咲いたようでした。萌気園から黒岩先生と看護師の方2名も来店され、もちろん「美味しい」と言ってくださいました。

さて来年は「私も何か作ろうかしら？」と思いましたが、美食家は食べることに専念します。

すずカフェable  
新メニューの紹介



すずカフェableが始まって、アツという間に1年が過ぎました。

どうしたらお客様に喜んでもらえるか、来てもらえるかと、そんなことばかり考えて右往左往して来ました。

今、新しく「ハニートースト」と「ピザトースト」等を始めようとしています。若い職員のアイデアと私のできることを重ねて、何とかしなくちゃと思っっています。一番のお勧めはハニートーストです。コーヒーを飲みながら召し上がってください。本当においしいですよ。お待ちしております。

（工房とん調理員  
桜井佐代子）





「林ハナさんを偲んで」  
グループホーム桐の花

前管理者 中村文子

桐の花開所の平成16年11月  
から入居されていた林ハナさん。  
3月11日に95歳で旅立たれた。

9人兄弟。上は男ばかり、末  
娘の双子。「ハルとハナ。それも  
双子！獣医の娘。成績はいつも  
優等。裕福でね。昔はよかった。  
あくあ実家に帰りたい」と何度  
繰り返したとか：ハナさんに  
とって昔の思い出は本当に幸せ  
な生活だったのだろう：と普通  
なら考える。しかしそうではな  
かった。家の事情はとでも大変  
でハナさんは里子に出された。  
学校に行きたくても行けなかつ  
た。一生懸命働いて、働いたお  
給料を全部実家に出した。苦勞  
続きの人生だったと家族から教  
えていただいた。

入居したばかりのハナさん  
は笑顔が少なかった。いつも家  
族と会いたがり（当たり前のこ  
とだが）何度家族に電話をかけ

東京から呼び出したことか：。  
とても気丈でプライドが高く、  
いわゆる難しいお婆あさん。い  
つも何かを悔やみ切ない一面が  
あった。「それでも寮母です  
か！もう少し考えて口をききな  
さい。」とよく怒られた。（ハナ  
さんは昔の経験からスタッツを  
寮母と呼んだ）



認知症が進むにつれ、あの手  
この手を駆使する職員とその上  
を行くハナさん。いろんな駆け  
引きやバトル？もあった。そん  
なハナさんが3年過ぎ4年過ぎ  
どんだん変わってきた。いつし  
か職員に「ありがとう。寮母さ  
んのおかげ！」「この食事は  
実家みたい。本当にありがたい」  
笑顔が増えおちゃめなかわい  
い一面。何よりも嬉しかったのは、

お嫁さんを世界一のお嫁さんと  
褒めた。いつも「こんな所に入  
れて」と怒っていたハナさんが  
自宅に帰った時に「桐の花に帰  
りたい。寮母さんが待っている  
から帰らなきゃ」と言ってくれ  
た。こんな賛辞はないと思っ  
た。

最期の時を迎える数か月前  
から大好きな歌の歌詞が続かな  
くなり、言葉もつながらなくな  
った。でも最期の最期まであり  
がとうだった。最期は家族に見  
守られ穏やかにハナさんらしく  
決まりよくお亡くなりになった。  
家族さんから「これこそ平穩死」  
と最後に言葉をいただいた。ハ  
ナさん亡き後もどこからか「富  
士の山」と「星影のワルツ」が  
聞こえてくるようだ。

贈る言葉はありがとうの言  
葉しか思いつかない。本当に感  
謝し、ご冥福を祈ります。

「弔辞（小倉幸吉さん）」

桐鈴会理事 森山里子

小倉さん、86年という長い人  
生がとうとう終わりましたね。  
本当にお疲れ様でした。ひとこ  
ろ食事があまり食べられず、ず

いぶん痩せた様子に心配してい  
ましたが、このところしばらく  
お会いしないうちに少しお元氣  
そうになられていたのですね。  
昨日夢草堂に移られてからお参  
りをさせていただき、最後のお  
顔を見せていただきましたが、  
とても穏やかそうな顔で少しホ  
ツとしました。お彼岸には娘さ  
んが持ってきた牡丹餅をおいし  
そうに食べたということもお聞  
きました。入居以来2人の娘  
さんやお孫さんがしょっちゅう  
面会に来ている様子には本当に  
感心させられました。早くに奥  
様をなくされ、大変なご苦勞を  
されてきたことをよく聞かされ  
ましたが、父親としては幸せだ  
っただろうなと思っています。

鈴懸の開所と同時に入居さ  
れた小倉さん、人生の最後に14  
年半という長い間過ごされたこ  
こ鈴懸は小倉さんにとってどん  
な場所だったのでしょうか。食  
事が3食食べられることが本當  
にありがたいとよくおっしゃつ  
ていられました。入居当時から  
働くことしかできることがない  
からといい、本當によく働いて  
いただきました。いつもホール

の事務室の見える位置に座って、何か役に立つ仕事がないか、職員から声がかからないかと待っていた小倉さんの姿が今でも焼きついていきます。玄関の掃除や、植木や鉢物の管理、新聞やチラシや段ボールを束ねたり、冬囲いもずいぶん長い間やっていたできました。さまざまな病気をしながらもここ3年程前までは一年中畑の仕事もし、せつせと厨房に野菜を運んでくださいました。初めのころは毎年何人もの入居者で野沢菜や大根を収穫しては漬けものをしていましたが、小倉さんはいつも気にかけて水が上がったと言っては重い石を片づけたり、洗ったりと管理をしてくださっていました。事務室の玄関わきの窓には、夏になるといつも小倉さんの育てた朝顔が咲き誇っていました。そして冬はせつせと除雪をしていました。私は家の都合で7年も前に鈴懸をやめてしまっていますが、施設長をさせていたいただいていた7年半ほどは小倉さんもお元気で、本当に用務員さんのように働いていただきました。一銭も払わずときどきお茶を出

させていただくばかりで申し訳ありませんとよく謝っていたものです。

そんな小倉さんでしたが、どういうわけかなかなか入居者同士の関係がうまくいかないことがしばしばありました。そんな時は父親のような年齢の小倉さんに生意気に意見をさせていただくこともありました。鈴懸は小倉さんにとってどんな場所なの



かな、集団生活でない暮らしができたらよかったのではないかなと思ったりしたものです。でも小倉さんにも楽しい思いもあったようです。よく覚えていのは藤縄ミヨ子さんという方とのことです。入居した時から認

知症を患っていた方でしたが、どういうわけか、小倉さんと気が合って小倉さんを頼りにし、小倉さんもとてもよく面倒を見てくださいました。その頃が鈴懸での小倉さんにとっても一番いい時だったのかなあと思ったりします。開所当時から入居者もずいぶん少なくなりました。今日は昔のことを懐かしく思い出してしまいました。とつぜんの訃報でお別れも言えず残念でしたが、先に逝かれた奥様のもとで今度こそゆっくりとお休みください。

\* 林ハナさん

グループホーム桐の花入居者。

95歳。(桐の花開所の平成16年11月から入居)平成26年3月11日ご逝去。

\* 小倉幸吉さん

ケアハウス鈴懸入居者。86歳

(鈴懸開設当初から14年5ヶ月入居)平成26年4月22日ご逝去。ご葬儀・告別式は4月24日夢草堂において、家族葬で営まれました。

お二人のご冥福をお祈り申し上げます。合掌。



**平成25年度、桐鈴会に次の資格取得者が誕生しました。**

○介護支援専門員 木村恵子

○介護福祉士 (ケアハウス鈴懸) 井口典子

○介護職員初任者研修終了 (鈴懸おはようヘルプ) 中俣てる子

(グループホーム桐の花) 積極的な意欲が実を結んだ結果です。更なる頑張りを期待しています。

## 産 声



3月7日、ケアハウス鈴懸職員(生活相談員)の小林裕子に、めでたく第3子、「跳(はねる)」君(2,700グラムの男子)が誕生しました。健やかに大きく育つことを願っています。おめでとうございます。

# 平成25年度寄付者・ボランティアの皆様

ご支援ご協力ありがとうございました。  
感謝いたします。(順不同・敬称略)



〈寄付者〉  
野村茂樹  
清水健夫  
黒崎 隆  
曾根晴雄  
山崎 浩  
彩月会代表 桑原逸庵  
南魚沼障害者福祉後援会  
森山里子  
黒岩秩子

近藤貴子  
関正太郎  
上村清吉  
林 晴美  
笹岡理香  
貝瀬孝子  
志太珠美  
羽賀則子  
清水春代  
池田豊美  
鈴木智子  
高橋 歩  
天王町盆踊りの会  
多聞青年団  
浦佐認定子ども園  
扇谷山浄福寺  
門山電機店  
昇工務店  
大和設備  
大和中学校  
浦佐小学校5・6年生  
大崎太鼓クラブ(中島)  
井口美賀  
佐藤 剛  
清水昭博  
行方弘子  
佐藤良子  
山口利幸  
黒田瑞江



榎本宗俊  
小尾アキ  
関ハツエ  
グルジナ  
(キルギスタン)  
ミラ (モンゴル)  
戸田 聡  
中沢勇志夫  
行方ヒロ  
市川竹安  
石田茂晴ご家族  
関光弘ご家族  
菜穂路  
広田セツ子  
宮里澄子  
星ひとみ  
佐藤三津江  
坂西行子  
森山佳代子  
安部佐知子  
トレス・ダニエル  
山田太一  
行方みよ子  
桑原葉月(ラパン)  
こころとかおりの会  
田中せつ子



## 桐鈴川柳(四月の句)

陽を受けて 雪のお山が 光ってる

鳥たちも 梢に集り 春うらら

晩酌の おともは素顔の 冷や奴

メダルとり 泣いた笑った 輝いた

介護者に 謝恩の気持ち 倍返し

鬼よりも 怖い婆が 豆を投げ

人生の 来し方浮かぶ 雛の数

肩こりへ 板か石かと 揉まれてる

世界初 水素プラント 夢多し

彼岸過ぎ 少し恋しい 雪の庭

川柳の会早くお茶 飲みたいな

買い溜めで ひとまず延ばす 消費税

春弥生 越後の桜 まだ咲かず

ご先祖様 冷たいもので ご免なさい

### 選者句

なるほどと 親が覚える 参観日

酔泉

## 編集後記

私事ですが、ヘルパーとして働き始めて今年で2度目の春を迎えました。桜の開花具合で例えるなら3分咲き? いやいや、ようやく蕾がつき始めてきた頃でしょうか。蕾といえば、渡り鳥のウソの鳥害にあった八色の森公園の桜も、今年は満開になりましたね。昨年は物足りなさを感じて淋しかった公園の風景も、ピンク色に鮮やかに一変しました。春の訪れは解放されたように心が弾みますね。

訪問先に伺う道すがら、道路脇に咲いた水仙やチューリップ、そして色鮮やかな花々の色を映えさせる青空と暖かな日差しに、仕事の緊張感も一時ほぐれ、しばしの短距離ドライブを楽しんでいます。「あ、あそのこの田んぼにうまげなふきのとうがある!」と若干食い気も出つつ…。花の名前に疎かった私も、関心を持つようになりました。庭に咲いたボケや杏。ふわふわの猫柳。利用者の方が一つ一つ教えてくださいました。春の日差しの中、並んで一緒に春を感じた時間でした。(上村久美子)